

1,2-ジクロロエタン・ $C_2H_4Cl_2$

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護眼鏡、ゴーグル型、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込んだ場合…水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。 ○ 吸入した場合…気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 ○ 皮膚に付着した場合…大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 ○ 眼に入った場合…水で15～20分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ○ 装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。 ○ 消防法の規制に従う。 ○ 取扱い後は手をよく洗うこと。 ○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 ○ 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 ○ 使用前に取扱説明書を読み解するまで取り扱わないこと。 ○ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○ ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。 ○ 皮膚と接触しないこと。飲み込まないこと。眼に入れないこと。環境に放出しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込むと有害 ○ 眼刺激 ○ 吸入すると有毒 ○ 眠気やめまいのおそれ ○ 発がんのおそれ ○ 中枢神経系、呼吸器、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、消化管の障害 ○ 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系、肝臓、心血管系、甲状腺の障害 ○ 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、腎臓の障害のおそれ ○ 水生生物に毒性 ○ 長期継続的影響によって水生生物に強い毒性